

鉄道中吊り広告から地域をみる



菊

NO. 111

晩秋の気配が感じられる昨今です。11月は文化の日と勤労感謝の日と祝日が2回あり、文化、スポーツに親しむ機会も多いようです。

中吊り広告にも文化芸術が検討してベスト5にもう一步の位置を占め、旅行レジャーのなかでもテニスやボートなどが目立ちました、

今年も残すところ1ヶ月余、向寒の季節を迎えます、健康にご留意のほどを。

2018年10月レポート

・調査対象路線 東京圏の次の16線

①京浜急行線 ②JR 京浜東北線 ③東急田園都市線 ④小田急線 ⑤京王線 ⑥JR 中央・総武線 ⑦西武線 ⑧東武東上線 ⑨東武伊勢崎線 ⑩京成線 ⑪東京メトロ銀座線 ⑫東京メトロ丸の内線 ⑬東京メトロ半蔵門線 ⑭都営新宿線 ⑮都営浅草線 ⑯JR 山手線
埼玉県関係の次の12線

①JR 宇都宮線・高崎線 ②JR 京浜東北線 ③JR 武蔵野線 ④JR 埼京線・川越線 ⑤西武線 ⑥東武東上線 ⑦東武伊勢崎線 ⑧秩父鉄道線 ⑨埼玉高速鉄道線 ⑩つくばエクスプレス線 ⑪東京メトロ有楽町線 ⑫東京メトロ副都心線 ⑬東京メトロ半蔵門線 ⑭東京メトロ南北線 ⑮東京臨海副都心線 ⑯東急目黒線・田園都市線

・調査月日 平成30年10月11日(木)

・調査結果 東京圏全体と埼玉県関係に大別してまとめました。

東京圏全体

<全体的な状況>

- ① 10月の広告業種別ベスト5は、①旅行レジャー(116)②お知らせ(51)③食品(46)④情報通信(31)⑤就職(25)の順で、次点は文化芸術、カード、各種商品(24)でした。
- ② 自社と他社別では、自社が187の46.4%で他社は217の53.6%で前月より差が縮まりました。
- ③ 空きスペースは42(9.4%)で前月とほぼ同水準でした。

<各線ごとのコメント>

- ・②⑥及び⑯のJR各線(京浜東北線、中央線・総武線、山手線)は、三線を通じて今月も業種が多く、京浜東北線と中央・総武線では10業種、山手線で9業種と多彩。このところ三線を通じて旅行レジャーが減少気味です。空欄も計19で全体の半数近くを占めました。
- ・①の京浜急行線は、例月どおり旅行レジャーをトップにお知らせ、食品、商業施設の順。7業種。
- ・③の東急線は、お知らせが首位。文化芸術、各種商品が続く。7業種。空欄8。
- ・④の小田急線は、旅行レジャーがダントツで半数に近くを占める。それ以外はドングリの背比べ。
- ・⑤の京王線は、前月に続き旅行レジャーをトップに食品とカードで御三家を占める。8業種。
- ・⑦の西武線は、今月も旅行レジャーが全体の2/3を占める。相変わらず自社が多い。
- ・⑧及び⑨の東武線(伊勢崎線と東上線)は、両線で旅行レジャーがトップ。それぞれ10業種で多彩。前月に続き自社率の高まりがみられる。
- ・⑩の京成線は、9業種と健闘。旅行レジャーが首位。食品、情報通信、商業施設と続く。
- ・⑪から⑬までの東京メトロ各線(銀座線丸の内線、半蔵門線)は、銀座線、丸の内線で旅行レジャー、半蔵門線で文化芸術が首位。他線に比べ出版も一定のシェアを占める。スペース少ない銀座線、丸の内線の業種数は評価。
- ・⑭及び⑮の都営地下鉄各線(浅草線、新宿線)は、例月どおり旅行レジャーとお知らせが多い。空欄両線は前月なみ。

秩父鉄道新郷駅



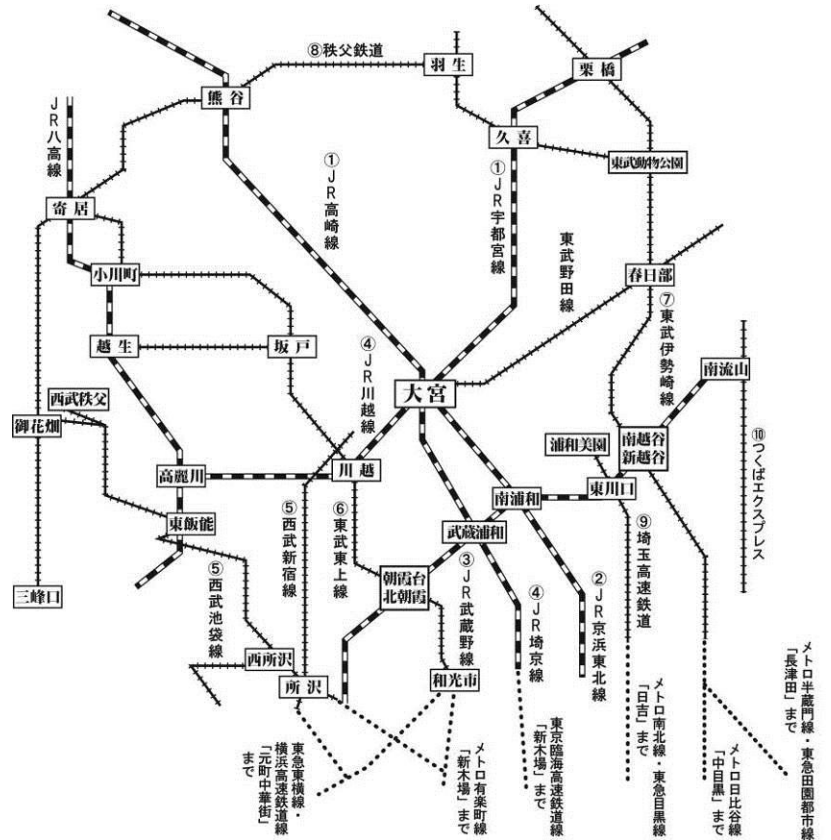
Wikipedia より

天神社



search.yahoo.co.jp より

埼玉県内調査対象路線と相互乗り入れ線



埼玉県内鉄道沿線別の広告内容状況

鉄道種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	合計			
広告業種	JR宇都宮・高崎	JR京浜東北線	JR武蔵野線	JR埼京・川越線	西武線	東武東上線	東武伊勢崎線	秩父鉄道	埼玉高速鉄道	つくばEX	東京外口有楽町線	東京外口副都心	東京外口半蔵門線	東京外口南北線	東京臨海都市線	東急黒田園都市線				
出版		2				1	1		1		7						12			
旅行レジャー	4	1			19	8	5	7	9		5						58			
金融保険		2															2			
不動産	2	3		JR京浜東北線に同じ	2		3			JR山手線に同じ		メトロ副都心線に同じ					10			
教育学校	1								1				1							3
文化芸術	1	1					1	3	1		3			3						13
情報通信	2	2				2	2				2			2						12
食品		2					4	3			3			3						15
商業	4					2	5	3			1			1						16
カード	1	3					2	2												8
就職	2	2				1	1	1			1			1						9
宝くじ等																				0
各種商品	2	2				1	1	1	7		4			2						20
お知らせ	2				5	3	2	8	3		3						26			
官公庁																	0			
その他																	0			
空欄	7	8					4	5									24			
合計	28	28	0		32	28	28	28	28		28						228			
自社	10	6	8		21	14	14	16	2		12						103			
他社	11	14	14		11	14	10	7	26		16						123			

鉄道各線の業種別広告内容は、2・3ページをご覧ください。

埼玉県関係

< 全体的な状況 >

- ① 埼玉県内に路線を有する鉄道は、JR、東武、西武、秩父鉄道、埼玉新都市交通、埼玉高速鉄道、つくばエクスプレスの7会社ですが、このうち中吊り広告を有する路線を対象に調査を実施しました。
- ② 掲載する中吊り広告は、鉄道各線が次のようにグループ化され同一内容になっています。
 - ・ JR 京浜東北線、埼京線、川越線、八高線（注：高麗川以南）
 - ・ JR 宇都宮線、高崎線
 - ・ JR 武蔵野線（JR 中央・総武線に同じ）
 - ・ 西武各線
 - ・ 東武線（東上線及び越生線を除く各線）
 - ・ 東武東上線及び越生線
 - ・ 秩父鉄道線
 - ・ 埼玉高速鉄道線（東京メトロ南北線と基本的に同一内容）
 - ・ つくばエクスプレス（JR 山手線と基本的に同一内容）

< 各線ごとのコメント >

- ・ ①の JR 宇都宮線、高崎線は、旅行レジャーと不動産がトップ。9業種と前月より増加。空欄 6。
- ・ ③の武蔵野線は、9業種と前月よりダウン。不動産と食品がトップ。空欄 5 と増加。
- ・ ⑧の秩父鉄道は、旅行レジャー、各種商品、お知らせが並んでトップ。空欄 11 で大幅に増加。
- ・ ⑨の埼玉高速鉄道は、旅行レジャーがトップ。文化芸術と食品が僅差で続く。8業種でダウン。

－ 「大学教育をめぐるあれこれ」 －

間もなく来春の大学入試シーズンの到来を迎えます。少子・高齢社会が着実に進行するなか、大学の経営もいろいろな課題が山積しているようです。

そんななか、電車で二つの中吊り広告をみました。一つは、学園祭へ行こうというものです。鉄道会社がスポンサーになり、沿線複数大学の学園祭への参加を呼び掛けたものです。背景には大学の郊外から都心回帰の動きも伺うことができます。もうひとつは、大学進学人口の減少化と高齢社会時代に対応するために、首都大学東京が生涯学習100歳を目指したプレミアムカレッジを提唱し、学生募集を始める内容でした。



中吊り広告からは離れますが、最近の新聞報道で大学進学の男女差の問題が取り上げられていました。それによると全国平均で男子 56.3 ポイントであるのに対して女子 50.1 で 6.2 の差があります。都道府県別では、東京、徳島が女性上位でそれ以外はすべて男性上位です。この報道で注目したのは、埼玉の女子の進学率が 46.9 と山梨、北海道に次ぐワースト3位であったことです。

東京圏各地には、数多くの大学が立地し、内外から沢山の学生が集い専門教育が施されていますが、地域がそれらに積極的に参画し、地域活性化の実をあげることが期待されています。(T.A)